

アベノミクスで地域経済はよくなるか

【第1の矢】異次元の金融緩和の実態は？

融資の件数は激減！
 それほど市内業者の体力が弱っているのでは（平野）

2月28日、3月定例議
 会が開会。3月5日には
 平成25年度補正予算の
 審議が行われ、日本共産
 党からは平野市議が質
 問に立ちました。
 新年度の当初予算案
 については、11日から3
 日間、集中審議が行わ
 れ、平野、えんど両市議
 が質問します。

《中小企業向け融資実績》

	件数	融資金額
H21	214件	12億4,660万円
H22	122件	6億5,324万円
H23	71件	4億0,440万円
H24	63件	3億5,928万円
H25	44件	2億6,710万円

《H25年度・補正予算の主な内容》

- ◇中小企業への融資のための経費 …… 1億4,400万円の減額
- ◇国保会計へ一般会計からの繰り入れ…1億5,000万円の増額
- ◇景気対策として6億8,000万円の公共事業
 道路、橋りょう、街灯LED化、学校の耐震補強など

《自営業者の所得と納税の状況》

	H20	H24
総所得額	63億8千万円	⇒ 56億円
納税者数	2,140人	⇒ 1,847人

平野市議は、上の事実を示して「市内業者は融資制度を活用できないほど体力が弱っている」と指摘しました。

日銀総裁の首をすげ替えてまで実行した「異次元の金融緩和」（銀行保有の国債を日銀が購入）その結果、銀行には資金がダブっている。しかし借り手がないのです。

平野市議は「別府市で見ると、第1の矢は成功していない」と指摘しました。

【第2の矢】「財政出動」で景気がよくなるでしょうか？
「元請けが儲かるだけでなく、末端の労働者までいき渡るように工夫を」と、平野市議が指摘
 別府市は安倍内閣の「経済対策」を受けて、補正予算で6億8千万円、新年度当初予算で約44億円の公共事業費を組みました。平野市議は、「一部の元請けだけでなく、広く経済効果がいき渡るように工夫を」と求めました。これに対して市当局は「下請けとの契約内容は提出される書類に記載されるが、労働者の賃金まではチェックできない」と答弁しました。
 アベノミクスの第2の矢でも、地域経済の再生はできそうにありません。これに消費税が増税されたら、業者の経営と市民の暮らしはどうなるのでしょうか。

日本共産党別府市議団

市議会議員 平野文活 えんど(猿渡)久子

新ごみ焼却場

またまた、おどろき！ なぜ、見学コースがないの？



別府市選出の広域圏議員は、2月26日、日立造船の責任者の案内で、新ごみ焼却場を視察しました。なんと驚いたことに見学コースがないのです。見学者は入口からすぐエレベーターで4階にあり、学習室のスクリーンで映像を見ながら、ごみ問題の説明を受けるといいます。

全国どこの焼却場でも、ゴミが投入された内部や集中管理室など現場の様子を、ジカに見学できるように建物が設計されています。最新鋭の施設のはずですが、あまりにもお粗末です。

すでに報告したように、入札の疑惑、暴力団がらみの不祥事、裁判記録で判明した『別府環境』との契約に至るカラクリなど、新ゴミ焼却場には驚かされることばかりです。

続報・・・暴力団絡みの不祥事

裁判記録に見る驚きの事実

『別府環境』社長の給与は なんと、月150万円！

裁判記録の中に、検察事務官から検事への報告書があります。そこには右の表のような驚くべき給与表がありました。

平成23年12月からは暴力団組長に渡すための100万円を4人の取締役の給与に25万円づつ上乗せしていたのですが、この給与表はそれを除く金額というのです。

別府市民の税金が、このような利権の対象として食い荒らされていたとは、本当に許されません。広域圏当局には、市民が納得のいく説明をする責任があるのではないのでしょうか。

『別府環境』幹部の給与(月額)

【K社長の場合】

H22年5月～	36万5,920円
H22年6月～	86万3,000円
H23年2月～	93万3,000円
H23年12月～	129万6,000円
H24年6月～	135万1,448円
H25年1月～	150万3,946円

【K・Kの場合】

H22年4月～	26万3,796円
H22年5月～	63万0000円
H23年2月～	70万0000円
H23年12月～	89万0000円
H24年6月～	101万3557円
H24年11月～	110万8719円
H25年1月～	112万8719円